

Race Report

Super GT 2014 Series

Round-5 / Fuji International Speedway

荒れた天候を味方にできず下位に沈む

Audi Team Hitotsuyamaは8月9～10日に静岡県・富士スピードウェイで開催されたSUPER GT 第5戦「FUJI GT 300KM RACE」に参戦致しました。直線区間が長くパワー勝負となる富士スピードウェイでの戦いは、コーナリングマシンのAudi R8 LMS ultraにとっては当初より厳しい展開が予想されていましたが、レースウィークは大型の台風が接近していることもあり、前戦スポーツランドSUGOでの荒れた展開の再来を期待しレースに臨みました。しかし、ドライコンディションで行われた公式練習、公式予選では、#21 Audi R8 LMS ultraはパワー不足、さらにABSトラブルに見舞われ不本意な結果に終わりました。公式予選終了後、チームはエンジンを換装、さらにドイツ本国とのコミュニケーションを行い決勝レースに向けトラブルの原因究明を行いました。決勝レースは台風の影響で前戦スポーツランドSUGOを上回る大荒れの展開に。Audi Team Hitotsuyamaはセーフティーカー導入や赤旗中断のタイミングを狙い変則的な戦略を採りましたが、その戦略も裏目に出てしまい、残念ながらクラス23位でレースを終えました。



8月9日 公式練習

- 公式練習はドライコンディションの中スタート。#21 Audi R8 LMS ultraはリチャードから走行を開始。
- エンジンパワーは不足しているものの、マシンバランス、タイヤとのマッチングは第2戦富士と比較し大幅に改善していることを確認。
- リチャードは「マシンもタイヤも今シーズンこれまでのベスト。あとはパワーだけ。」とマシンを評価し、藤井に交代。
- 公式練習後半を担当したリチャードも藤井同様、決勝レースを想定し21周を走行。
- 藤井もリチャードと同様のフィーリングを得るが、ライバル勢と比較し最高速で20km/hの差があることを危惧して公式練習を終えた。
- リチャードが前半に記録した1分41秒455がベストタイムとなったが、クラストップから2秒359引き離され、クラス24位最下位に終わった。

7月13日 公式予選

- 午後の公式予選もドライコンディションでスタート。
- Q1を担当したリチャードだが、コースイン早々、ABSの異常を無線で伝える。
- リチャードは公式練習のタイムすら上回ることが出来ず、計測3周目に1分42秒066を記録するとピットイン。
- ABSのチェックを行い、再度コースインを試みるものの、トラブルの原因は解決できずにそのままマシンを降りることとなった。
- 公式予選もクラス24位最下位と不本意な結果で終えた(公式予選後、他車のタイムが抹消されたことにより、クラス23位からのスタートに)。
- チームは公式予選終了後、ABSトラブル、そしてエンジンパワー不足を解決すべく、エンジンを換装。さらにドイツ本国とのコミュニケーションを行い、トラブルの原因究明に全力を尽くした。

P1 #61 SUBARU BRZ R&DSPORT 佐々木孝太 / 井口卓人

P2 #31 OGT Panasonic PRIUS 新田守男 / 嵯峨宏紀

P3 #0 MUGEN CR-Z GT 中山友貴 / 野尻智紀

P23 #21 Audi R8 LMS ultra リチャード・ライアン / 藤井誠暢

一ツ山幹雄 (チームオーナー)

「トラブルに悩まされる初日となってしまいました。ABSトラブルは解決できましたが、エンジンパワーが足りないことが大きな問題です。ライバルとストレートエンドで20km/hも差があることを根本的に解決しないと、明日は厳しい戦いになりそうですね。まずは今からエンジンを載せ換えます。明日はまた難しいコンディションのレースになるはず。戦略を間違えず、天候を味方に付けて追い上げるレースに出来ればと思っています。」

8月10日 決勝レース

- 台風11号の影響を受け、サーキットは朝から雨量が大きく変化する中スケジュールが進んでいった。
- #21 Audi R8 LMS ultraのスタート担当はリチャード。セーフティーカー先導によるスタートが切られた。
- エンジン換装やドイツ本国とのコミュニケーションを行い原因究明を行ったものの、やはりエンジンパワー不足は改善されず、リチャードは後方グループから離されずに走行するのがやっとの状況。
- 雨量増加により9周目には一旦セーフティーカーが導入される。その後、天候回復に時間がかかることから、レースは16周目に一時赤旗中断となる。この時点でリチャードはクラス20位。
- その後、16:15からセーフティーカー先導によりレースは再開されることに。
- チームは戦略を大幅に変更し、セーフティーカーがピットに入った18周目にピットイン。ドライバー交代と給油作業のみ行い、藤井は深溝タイヤのまま無交換でコースに戻った。
- しかし、その後徐々に雨量は弱まり、多くのライバル勢はピットインのタイミングで浅溝タイヤに交換。
- 深溝タイヤを履く藤井のペースは一向に上がらず、浅溝タイヤに交換するためにピットイン。この時点でクラス最下位の24位まで後退してしまった。
- コース上はその後もさらに雨量が減少。チームはポジション挽回を狙い、ライバル勢に先駆けドライタイヤに履き替えるために再度ピットイン。
- 藤井はドライタイヤで1分48秒596のタイムをマークし、一時はライバル勢を大きく上回るタイムで走行。その差を縮めるかに見えた。
- だが今度は徐々に雨量が増加。53周目にセーフティーカーが導入され、レースはセーフティーカー先導のままチェッカーフラッグとなった。
- #21 Audi R8 LMS ultraは戦略を大きく外し、クラス23位でレースを終えることとなった。

P1 #61 SUBARU BRZ R&DSPORT 佐々木孝太 / 井口卓人

P2 #11 GAINER DIXCEL SLS 平中克幸 / ビヨン・ビルドハイム

P3 #86 クリスタルクロコ ランボルギーニ GT3 細川慎弥 / 山西康司

P23 #21 Audi R8 LMS ultra リチャード・ライアン / 藤井誠暢

一ツ山幹雄（チームオーナー）

「今回は大きく戦略を外してしまいました。エンジンパワーが足りないというトラブルは最後まで解決できませんでしたが、それが無かったとしても今回は戦略負けと言わざるを得ません。最初のピットインで我々はタイヤ無交換でしたが、隣のJLOCさんはほぼ同じタイミングでピットインして浅溝タイヤに交換、そのタイヤで最後まで走り切り3位表彰台を獲得しています。我々にもその選択肢は有ったわけですから、この天候を味方に出来なかったということです。鈴鹿1000kmまでにマシンの問題点を洗い出し、必ず良い結果を得られるようにします。引き続き、応援お願い致します。」



第6戦は8月30日～31日に三重県・鈴鹿サーキットにて開催されます。
引き続き、皆様からの沢山のご支援・ご声援をお待ちしております。



Official Facebook page of Audi Team Hitotsuyama.

<https://www.facebook.com/hitotsuyamaracing>